

令和3年3月22日

市政記者各位



福岡市総務企画局企画調整部  
福岡地域戦略推進協議会

## 福岡市実証実験フルサポート事業 採択プロジェクトの決定について

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）は、「福岡市実証実験フルサポート事業」において、AI や IoT 等の先端技術を活用して社会課題の解決等を目指すプロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトについて、福岡市での実証実験を様々な面でサポートしています。

この度、新たに2件のプロジェクトを採択しましたので、お知らせいたします。

### ○ 採択プロジェクト一覧

| 実施主体  | 概要   |
|---|--|
| 株式会社新出光<br>  | <b>EV スクーターのシェアリングサービス事業</b><br>「低炭素型交通網の構築、移動手段の多様化・利便性向上、新たな観光モビリティの提供」などを目指し、 <u>EV スクーターのシェアリングサービスの実証</u> に取組み、利用者ニーズや運営上の課題等を検証するもの。     |
| 株式会社クアンド<br> | <b>Digital Factory</b><br>「人手不足が深刻な課題となっている建設・メンテナンス業界の現場業務の生産性向上」などを目指し、 <u>設備データの3D化と遠隔コミュニケーションツールの活用した維持管理</u> に取組み、利用者ニーズや運営上の課題等を検証するもの。 |

福岡市  
実証実験  
フルサポート事業

先端技術等を活用し、社会課題の解決等を目指す優秀なプロジェクトについて、関係部局等との調整や広報支援、実証フィールドの提供、国家戦略特区を活用した規制緩和などの支援により、その社会実装に向けた実証実験を福岡市がサポートし、新たなサービス・ビジネス創出を促進します。

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/mirai/fullsupport.html>



詳細やこれまでのプロジェクトは  
WEB サイトをご覧ください

【お問い合わせ先】

福岡市総務企画局企画調整部 吉村、森  
電話：092-711-4879（内線 1219）

2021年3月22日  
株式会社新出光

福岡市実証実験フルサポート事業 採択決定  
EV スクーターシェアリングサービス事業

株式会社新出光(本社:福岡市博多区上呉服町 代表取締役社長:出光泰典)は、この度「EV スクーターのシェアリングサービス事業」の実証実験において、福岡市と福岡地域戦略推進協議会が実施する「福岡市実証実験フルサポート事業」に採択されました。

同実証実験では、「低炭素型交通網の構築、移動手段の多様化・利便性向上、新たな観光モビリティの提供」などを旨し、EV スクーターのシェアリングサービスの実証に取組み、利用者ニーズや運営上の課題等を検証していきます。

■福岡市実証実験フルサポート事業

福岡市と福岡地域戦略推進協議会が AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートするもの。

■採択式写真



当リリースに関するお問合せ先

株式会社新出光 広報担当 谷口<sup>しもじょう</sup>・下門 電話:092-291-4134

経営企画部 山口 電話:080-5801-8273

以上

## 福岡市実証実験フルサポート事業にQUANDOが現在構想している事業 「Digital Factory」が採択されました！

2021年3月15日、福岡市役所にて行われた福岡市実証実験フルサポート事業の採択式におきまして、高島市長にプロジェクト内容を正式にご報告させていただきました。

# 福岡市 実証実験 フルサポート事業



### 福岡市実証実験フルサポート事業とは

「福岡市実証実験フルサポート事業」は、福岡市と福岡地域戦略推進協議会がAI・IoTなどの先端技術を活用した社会課題の解決や生活の質の向上などにつながる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験を全面的にサポートするものです。

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/mirai/fullsupport.html>

QUANDOは2020年の4月に「SynQ Remote」でも本事業に採択されており、正式版リリース前に福岡市の公共工事の現場で実証実験を行わせていただきました。住宅都市局や道路下水道局、港湾空港局など様々な部署でご利用いただき、プロダクトの改善に直結する多くの声をいただくことができました。

### 設備データ見える化「Digital Factory」サービス

今回採択された「Digital Factory」構想とは、「SynQ Remote」ユーザーの「遠隔からリアルタイムの設備の状態を確認し、現地作業員に指示を出したい」「設備に関する図面やファイルなどの管理や共有も一緒にできるとよい」という声から生まれた構想です。まず工場や施設の3D映像を撮影し、その中に写っている設備に仕様書や点検データなど様々なデータを紐づけていきます。このデジタルファクトリーと「SynQ Remote」を組み合わせることで、より多くの情報を共有しながらの遠隔コミュニケーションが可能になります。

「設備データ見える化-DIGITAL Factory-」サービスのご紹介



<サービスイメージ>

貴社の施設を撮影し、クラウド上にデジタルファクトリーを立ち上げます。デジタルファクトリーの中の設備をクリックすると、対象設備にまつわるデータに簡単にアクセスすることができ、いつでもどこからでも、設備データを「見る」ことが可能になります。

高島市長からは「公共事業においても技術者の高齢化は大きな課題です。是非頑張ってください」という言葉をいただきました。現場の声をいち早く反映できるよう、実証実験を進めてまいります。

#### ■関連リンク

SynQ Remote サイト：

<https://www.synq-platform.com/>

SynQ Remote サービス紹介動画：

[https://www.youtube.com/watch?v=LoHDPDGZI7Q&feature=emb\\_title](https://www.youtube.com/watch?v=LoHDPDGZI7Q&feature=emb_title)

SynQ Maintenance サイト：

<https://maintenance.synq-platform.com/>

#### ■株式会社クアンドについて

会社名：株式会社クアンド（英文社名：QUANDO, Inc.）

所在地：福岡県北九州市八幡東区枝光2-7-32 /福岡市中央区大名2-4-22 3階 OnRAMP内

事業内容：アプリケーション・WEB開発、DXに関するコンサルティングなど

代表者：代表取締役CEO下岡純一郎

URL：<https://www.quando.jp/>

お問合せ：上記HPやLPサイトのフォームよりお問い合わせください